



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:77 平成20年9月15日

## …つぶやきサロン…

### …つぶやきサロン…

#### —ゲリラ豪雨—



産経ニュースより転載

このつぶやきサロンの話をいただいたとき、私たちは愛知県岡崎市に行くため情報を集めていたところでした。観光ではありません。8月28日からの大雨による被害で、なんと市内全域14万世帯以上に避難勧告が出て生活に影響がでています。2人の方の命も奪われてしまいました。その復興支援に参加できないか検討しているところです。

最近ゲリラ豪雨という言葉をよく耳にします。ゲリラ豪雨とは局所的で短時間に大量の雨が降ることによって大きな被害となります。最近の気象はおかしいですね。地球温暖化の影響が指摘されていますが、とにかく身を守らないといけません。家族

を守らないといけません。大雨、台風、雷、竜巻などの気象災害や地震災害。それらを私たちの手で避けることは難しい。出来ることはその被害をいかに抑えるかということです。

私たちは福岡県西方沖地震のとき、福岡市西区に支援に行ったのですが、同時に日頃の活動で知り合った人たち、特に障がいを持った方々に連絡を取り、被害がないか、支援の必要がないか確認することから始めました。災害による被害を軽減するためには、助け合いが特に大切だということをひしひしと感じています。

ボランティアグループ すきまの会 司城政行

# 第82回・サポートセンターの日/2008・8・25

NPO活動発表会

川を守り、地域をつなげる環境



おりお堀川を愛する会  
会長 重藤 一さん

堀川は、遠賀川から分かれ、八幡西区楠橋、中間市、水巻町を通り、再び八幡西区折尾に続いて洞海湾へとそそぐ、全長約12kmの人工運河です。江戸時代に183年という長い年月をかけて掘削され完成してから昭和初期までの間、米や石炭の輸送路として活躍しました。

100年以上、水運や灌漑によって流域の暮らしを支えた堀川をもっと愛される川に甦らせるために、一斉清掃を初めとして様々な活動を行っているのが「おりお堀川を愛する会」です。

初めて行った「おりお堀川大掃除」(平成14年)では、川底から自転車64台、スクーター5台等も出てきて、2tトラック4台分以上ものゴミが引き上げられました。そのために学生、ボランティア団体、自治会と多くの参加者の気持ちが“堀川”というキーワードで一つになり、環境保護への問題意識が高まりました。

平成16年からは、小学生が作成したペットボトル風車を堀川流域に展示したり、環境保護の啓発コンサートやイベントを開催しました。今では折尾の行事として定着しています。また清掃活動も水巻町や中間市の流域まで拡大され、参加人数も年々増加しています。

最初のきっかけは数名の「いつも汚い堀川をなんとかしよう」という雑談からでした。今では堀川を愛する人たちの輪が広がり、上流から下流までの流域住民が気持ちを一つにしています。

川の中で空き缶やサドルを踏んだ体験をした人は、きっと川に物を捨てることはないでしょう。これからも堀川流域をもっと住みよいまちにしていくことを目指していきます。



特定非営利活動法人 紫川を守る会  
吉村 もとひでさん

紫川は、昭和28年の大水害で死者183人を出し、これを機に、護岸工事、ダム建設など治水事業がスタートしました。しかし、当時の小倉はほとんど下水道がなく、家庭や工場の廃水は紫川に垂れ流され、川は異臭を放っていました。

昭和38年から下水道整備が始まり、その普及と市民による浄化活動の結果、昭和60年代にはアユが住めるくらいの水質にまで改善しました。これは、上流から下流まで、市内で完結する紫川ならではの劇的な再生でした。

私たちはこの紫川を守るための活動をしています。主に川での清掃活動、稚アユの放流、子ども達に対する環境教育です。紫川に関係する他団体と協力して清掃活動を行うほか“市民の方々と共に川の自然を守り、紫川をアユが住める川にする”ことを目指して、毎年稚アユを放流しています。当初は2万匹の放流でしたが、今では倍以上の5万匹を放流しています。また小学校のプールを利用して、子ども達に川の生き物を実際に目で見て、手で触る経験をしてもらい、環境に対して興味を持つきっかけづくりをしています。

川は下流と上流のどちらか一方だけがきれいになっても意味がありません。活動を通じて、紫川を守るという同じ気持ちを持つたくさんの方々、団体と出会いました。一つの団体が中心になるのではなく、各々の団体が中心となり活動することが大切だと感じています。いつか私たちは、紫川の下流から上流までの22.4kmの距離を同じ気持ちを持つ人たちで手を繋ぎ、川と人を繋ぐイベントをしたいと思っています。そのことで紫川を守ろうとする人たちの気持ちが一体になれるのではと考えています。

ただきれいな川というだけではなく、たくさんの生き物が住む美しい紫川になるように今後も活動していきたく思います。



# 情報のひろば

## イベント・ボランティア

### ◆少子・高齢社会市民講座

～地域社会の傾聴力を養い高めるためにⅡ～

“傾聴訓練 第2弾”を実施します。  
「虐待およびうつ病（症状）の理解と対応」を中心に構成しました。

- 日時：10月2日～翌年1月22日  
(毎週木曜日13:30～16:00)
- 会場：北九州市立生涯学習総合センター
- 講師：安部計彦（西南学院大学准教授）他
- 参加費：3,000円 会員は無料  
(全回通し/但し1回は500円)
- 問合せ先：高齢社会をよくする北九州女性の会  
TEL093-583-7604  
月・水・金10:00～17:00  
火・木13:00～17:00  
<http://www3.ocn.ne.jp/~kkyj/>

### ◆うさぎの耳相談室オープン学習会（無料）

～こどもの心を抱きしめて！～

子どもは何を感じ、どのようなことを大人に求めているのだろう？

- 日時：9月27日（土）13:30～15:00
- 会場：黄金まちNPOステーション  
(小倉北区黄金町商店街内・こがね交茶店)
- 講師：CAPスペシャリスト 才所ひとみさん
- 参加費：無料
- 申込み・問合せ先：うさぎの耳相談室  
TEL090-5264-5585  
(中野)

## 助成金情報

### ★花王・みんなの森づくり活動助成

国内の緑化活動（森づくり活動）に取り組んでいる団体の助成。プロジェクト助成（単年度）とスタートアップ助成（3年間継続）の二つ。

- ★助成金額：プロジェクト助成は1年100万円上限  
スタートアップ助成は初年度1件につき30万円上限（3年間で100万円上限）
- ★締切：10月31日（金）当日消印有効
- ★財団法人 都市緑化基金  
〒102-0082 東京都千代田区一番町10番地  
一番町ウエストビル5F  
「花王・みんなの森づくり活動助成」係  
TEL03-5275-2291  
<http://www.urban-green.or.jp/>

### ◆第6回福岡県失語症会話パートナー養成講座

失語症を理解し、社会との交流を手助けする専門ボランティアです。  
意欲のある方の応募をお待ちしています。

- 日時：11月8日（土）、9日（日）  
10:00～15:30（受付9:40～）
- 会場：ウェルとばた
- 定員：10名
- 内容：失語症の基礎知識の講義、失語症の方やご家族の方の体験談、模擬演習など
- 応募条件：趣旨に賛同し、2日間の講義すべてに参加できる方、ボランティアを継続し、月1回のボランティア活動の場に参加可能な方
- 参加費：4,000円+テキスト代2,520円
- 応募方法：受講申込書および撮影承諾書に必要事項を記入し、返信用封筒（80円切手を貼ったもの）を同封のうえ下記宛まで郵送  
※郵送のみ受付いたします  
※受講申込書はサポートセンターで入手のこと
- 締切：10月1日（水）消印有効
- 申込先：〒802-0077  
北九州市小倉北区馬借1-7-1  
北九州市立障害福祉センター  
言語聴覚士 志賀美代子
- 問合せ先：失語症会話パートナー養成「あんど」  
TEL090-9497-4739

### ◆堀川いっせい清掃参加者募集

どろんこになってもいい服装で来てね！！  
参加者には地域通貨のオリオンがもらえます。

- 日時：10月5日（日）※8:30集合  
9:00～14:00（昼食付き）
- 集合場所：折尾商連事務所前広場 ※少雨決行
- 清掃場所：折尾駅周辺の堀川
- 締切：9月25日（木）※2名以上のグループで
- 主催：堀川まちおこし実行委員会
- 問合せ先：八幡西区役所 まちづくり推進課企画係  
TEL093-642-1441

### ★「国際コミュニケーション基金」 社会的・文化的諸活動助成

地域社会の国際化につながる各種の活動、情報通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業など国際理解促進に寄与する活動や事業に助成。

- ★助成金額：1件あたり100万円までとし、10件程度
- ★締切：10月20日（月）必着
- ★財団法人 国際コミュニケーション基金  
〒108-0075 東京都港区港南2-16-1  
品川イーストワンタワー  
TEL03-6716-1181  
<http://www.icf.or.jp/information/index.html>



# NPO法人の申請・認証状況

北九州市のNPO法人の申請・認証状況  
平成10年12月1日～平成20年8月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	251	229	—

## 全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年7月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	33,569	32,350	374
【福岡県】	1,211	1,172	1
内閣府	3,018	2,813	120
全国計	36,587	35,163	494

### 8月に認証された特定非営利活動法人

- 特定非営利活動法人LAC（8月12日認証）
- NPO法人ゆう・ゆうSPORTS CLUB（8月20日認証）
- NPO法人筑豊山の会（8月29日認証）

## NPO・ボランティアのためK7-アップ・セミナー 受講生募集!

受講無料!

基本の「き」としての運営力をつけるためのポイントを学びます。

募集締切：9月24日（水）申込み、問合せは当センターまで。 たくさんのご応募お待ちしております!

回	日時	テーマ	講師	場所
1回	9/27(土) 14:00~16:00	「自分らしく社会のために ～市民活動の成功学とは～」 (公開講座とオリエンテーション)	早瀬 昇 (大阪ボランティア協会)	ウェルとばた 111・112 会議室
2回	10/1(水) 14:00~16:00 18:30~20:30	「現場発信力! ～ココロに残る個性の伝え方」	古賀 桃子 (ふくおかNPOセンター) ゲスト：NPO 2団体	ムーブ 5階 小セミナールーム
3回	10/15(水) 14:00~16:00 18:30~20:30	「財産は人材! ～ひと育ての“いろは”」	志賀 壮史 (里山計画研究所) ゲスト：NPO 2団体	ムーブ 5階 小セミナールーム
4回	10/29(水) 14:00~16:00 18:30~20:30	「助成金カクトクの虎の穴 ～その傾向と対策」	黒岩 淳 (北九州NPO研究交流会) ゲスト：NPO 2団体	ムーブ 5階 小セミナールーム

### 北九州市市民活動サポートセンター



〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4  
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: [support3@axel.ocn.ne.jp](mailto:support3@axel.ocn.ne.jp)

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00  
日曜・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。  
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

—利用時間— 月曜日～土曜日《10:00～21:00》

日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】9月25日(木)・10月30日(木)

### 編集後記

今年81歳になる義母は私の尊敬する人の一人である。

何でも器用に自分で作り、とても大切に使う。自分で着る服はもちろん、セーター等は何度もほどこいてはまた違うものを作る。手間隙かけて作るごま豆腐はとても美味しいし、食卓にはいつも栄養バランスのとれた手料理が並び。

年に数回しか会えないけれど、会うたびに大切なことを思い出し、忙しさを理由に怠け者になりがちな我身を反省するのである。

9月15日は敬老の日。年配の方々から学びたいことはたくさんある。

by